

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名 (地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
西之表市	城・小牧野・竹鶴・今年川地区 (城集落・小牧野集落・竹鶴集落・今年川集落)	令和3年3月	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	104.4 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	61.1 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	21.7 ha
i うち後継者未定の農業者の耕地面積の合計	1.7 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	14.0 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕地面積の合計	0.0 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<p>市街地郊外に広がる農用地区域で、市街地に近いことから、地元市場への供給源としての近郊園芸も行われているが、さとうきびや甘しょの普通作を主体に、肉用牛・乳用牛の畜産経営が盛んである。一方で、農家の高齢化や後継者不足により、遊休農地化が進むおそれが大きい。また、地区内で規模拡大意向のある中心経営体がないことから、今後は、地区外からの法人等の参入の促進や、中心経営体への集積と合わせ農地中間管理機構への貸付を推進し、遊休地化を防ぐことが重要である。</p>

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>城集落・小牧野集落の農地利用は、中心経営体である認定農業者の13経営体と認定新規就農者の2経営体及び認定農業者法人4経営体が担っていくほか、入作を希望する認定新規就農者や地区外の認定農業者法人の受入れを促進することにより対応していく。</p>
<p>竹鶴集落・今年川集落の農地利用は、中心経営体である認定農業者の8経営体と認定新規就農者の1経営体及び認定農業者法人4経営体が担っていくほか、入作を希望する認定新規就農者や地区外の認定農業者法人の受入れを促進することにより対応していく。</p>

(参考) 中心経営体

属性	農業者	現 状		今後の農地の引き受けの意向		
	(氏名・名称)	経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	A	葉たばこ、原料用甘しよ、 水稲、飼料作物、さとうき び、肉用牛	5.1ha	葉たばこ、原料用甘しよ、 水稲、飼料作物、さとうき び、肉用牛	5.1ha	城・小牧野
認農	B	さとうきび、原料用甘 しよ、パレイシヨ	3.9ha	さとうきび、原料用甘 しよ、パレイシヨ	3.9ha	竹鶴・今年川
認農	C	青果用甘しよ、原料用甘 しよ、パレイシヨ、スナッ プエンドウ、水稲	2.5ha	青果用甘しよ、原料用甘 しよ、パレイシヨ、スナッ プエンドウ、水稲	2.5ha	城・小牧野・竹鶴・今年川
認農	D	さとうきび、原料用甘 しよ、青果用甘しよ、パレ イシヨ	2.5ha	さとうきび、原料用甘 しよ、青果用甘しよ、パレ イシヨ	2.5ha	竹鶴・今年川
認農	E	さとうきび、原料用甘 しよ、水稲、飼料作物、肉 用牛	1.9ha	さとうきび、原料用甘 しよ、水稲、飼料作物、肉 用牛	1.9ha	城・小牧野
認農	F	生産牛、さとうきび、青果 用甘しよ、澱粉用甘しよ、 焼酎用甘しよ、水稲、飼料 作物	1.8ha	生産牛、さとうきび、青果 用甘しよ、澱粉用甘しよ、 焼酎用甘しよ、水稲、飼料 作物	1.8ha	城・小牧野・竹鶴・今年川
認農	G	青果用甘しよ、原料用甘 しよ、パレイシヨ、さとう きび、水稲、葉たばこ	1.7ha	青果用甘しよ、原料用甘 しよ、パレイシヨ、さとう きび、水稲、葉たばこ	1.7ha	城・小牧野
認農	H	葉たばこ、原料用甘しよ、 水稲、飼料作物、肉用牛	1.4ha	葉たばこ、原料用甘しよ、 水稲、飼料作物、肉用牛	1.4ha	城・小牧野
認農	I	さとうきび、原料用甘 しよ、青果用甘しよ、水 稲、肉用牛	1.4ha	さとうきび、原料用甘 しよ、青果用甘しよ、水 稲、肉用牛	1.4ha	城・小牧野・竹鶴・今年川
認農	J	葉たばこ、パレイ シヨ、肉用牛	1.3ha	葉たばこ、パレイ シヨ、肉用牛	1.3ha	城・小牧野
認農	K	さとうきび、原料 用甘しよ、生産牛	0.9ha	さとうきび、原料 用甘しよ、生産牛	0.9ha	竹鶴・今年川
認農	L	澱粉用甘しよ、飼 料作物、生産牛	1.0ha	澱粉用甘しよ、飼 料作物、生産牛	1.0ha	城・小牧野
認農	M	青果用甘しよ、ス ナップエンドオ ウ、水稲	0.9ha	青果用甘しよ、ス ナップエンドオ ウ、水稲	0.9ha	竹鶴・今年川
認農	N	さとうきび、原料用甘 しよ、飼料作物、肉用牛	0.8ha	さとうきび、原料用甘 しよ、飼料作物、肉用牛	0.8ha	城・小牧野・竹鶴・今年川
認農	O	葉たばこ、でん粉用甘 しよ、焼酎用甘しよ、パレ イシヨ、さつきび、肉用 牛、水稲	0.6ha	葉たばこ、でん粉用甘 しよ、焼酎用甘しよ、パレ イシヨ、さつきび、肉用 牛、水稲	0.6ha	城・小牧野
認農	P	パレイシヨ、さとうきび、 水稲、飼料作物、肉用牛	0.3ha	パレイシヨ、さとうきび、 水稲、飼料作物、肉用牛	0.3ha	城・小牧野
認農	Q	原料用甘しよ、さとうき び、水稲、飼料作物、肉用 牛	0.3ha	原料用甘しよ、さとうき び、水稲、飼料作物、肉用 牛	0.3ha	城・小牧野
認就	R	玉ねぎ、サトイ モ、ツクネイモ	0.5ha	玉ねぎ、サトイ モ、ツクネイモ	0.5ha	竹鶴・今年川
認就	S	青果用甘しよ、澱粉用甘 しよ、パレイシヨ、生産牛	0.5ha	青果用甘しよ、澱粉用甘 しよ、パレイシヨ、生産牛	0.5ha	城・小牧野
認就	T	青果用甘しよ、さ とうきび	0.2ha	青果用甘しよ、さ とうきび	0.2ha	城・小牧野
認農法	U	青果用甘しよ	1.1ha	青果用甘しよ	1.1ha	城・小牧野・竹鶴・今年川
認農法	V	さとうきび	0.7ha	さとうきび	0.7ha	城・小牧野・竹鶴・今年川

認農法	W	フリージア球根	0.5ha	フリージア球根	0.5ha	城・小牧野・竹鶴・今年川
認農法	X	さとうきび	0.4ha	さとうきび	0.4ha	城・小牧野・竹鶴・今年川
計	24経営体		32.2ha		32.2ha	

注1: 「属性」欄には、個人の認定農業者は「認農」、法人の認定農業者は「認農法」、認定新規就農者は「認就」、法人化や農地集積を行うことが確実である市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」と記載します。

注2: 「今後の農地の引き受け意向」欄については、現状からおおむね5年から10年後の意向を記載します。

注3: 「経営面積」欄には、プランの対象地区内における中心経営体の経営面積を記載します。

4 3の方針を実現するため必要な取り組みに関する方針(任意記載事項)

▽農地の貸付けの意向
貸付け意向が確認された農地は、64筆83,104㎡となっている。
▽農地中間管理機構の活用方針
基本的には、法人や拡大志向農家等の中心的経営体への集約化を目指し、農地所有者等は、出し手・受け手にかかわらず、原則として農地を機構に貸し付けていく。
▽鳥獣被害防止対策への取り組み方針
引き続き共同での侵入防止柵の設置等検討していくとともに市の鳥獣対策協議会と協力して、捕獲の充実に取り組んでいく。

(参考)農地の貸付け等の意向(任意記載事項)

	農地の所在(地番)	貸付け等の区分(㎡)		
		貸付け	作業委託	売渡
1	西之表8587-1 他63件	83,104㎡		
計	64件	83,104㎡	0㎡	0㎡

注: 農業委員・農地利用最適化推進委員が農地の貸付け等の意向を確認した面積を農地利用最適化交付金の成果実績払いの対象とする場合には、人・農地プランにおいて地番、面積を記載することが必要です。